

# 男子ホッケー日本代表チーム インド遠征

日付	2015年5月7日 19:00~20:20	天候	晴れ
場所	インド・ブバネーシュワル	通算結果	日本 2敗1分
試合	第3戦		

## RESULT

Country  
**日本**  
JAPAN

Final	1	-	2
Third Period	1	-	2
Half-time	0	-	1
First Period	0	-	0

Country  
**インド**  
INDIA

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
16	1	高瀬克也(GK)			
57	3	粥川幸司			
✓	5	塙川直人			
✓	6	三谷元騎			
✓	7	小野知則(C)			
✓	8	北里謙治			
4	9	藤本一平			
✓	11	川上啓			
3	12	黒川大地			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
6	18	膳棚大剛			
✓	23	坂本博紀	23		
✓	25	和久利裕貴			
3	26	村田和麻			
✓	28	星卓			
✓	31	新本優(GK)			
2	32	橋敏郎	41		
Coach		姜建旭			
Manager		藤原信幸			
UMPIRE		RAGHU PRASAD RV (IND)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	Harmanpreet Singh			
✓	2	MOR Pardeep			
	3	Rupinder Pal Singh(GK)			
13	5	KHADANGBAM Kothajit Singh			
✓	8	Sardar Singh(C)			
6	9	WALMIKI Yuvraj			
7	10	Dharamvir Singh			
7	12	VOKKALIGA RAMACHANDRA Raghunath			
✓	13	Gurbaj Singh			
✓	14	UPADHYAY Lalit Kumar			
✓	23	Harjot Singh (GK)			
✓	24	SOWMARPET VITALACHARYA Sunil			
10	25	Satbir Singh	54		
✓	26	LAKRA Birendra			
✓	27	Akashdeep Singh			
✓	28	KULAR Jasjit Singh			
✓	29	KANGUJAM Chinglensana Singh			
6	32	THIMMAIAH Chandanda Aiyanna Nikkin			
Coach		PAUL VAN ASS			
Manager		SANDEEP SANGWAN			
UMPIRE		PRAJAPATI DHAVAL (IND)			

Team	Minute	Name	Action	Score
IND	30	VOKKALIGA RAMACHANDRA Raghunath	PC	0-1
IND	36	Akashdeep Singh	FG	0-2

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	44	和久利裕貴	PC	1-2

インド遠征第3戦。日本は第2戦のメンバーから、DF粥川に代わって星が先発出場。

(第1クオーター)

試合開始からやや日本のペースで試合が進んでいく。両者お互いに何度かサークルインするものの、シュートまでは持ち込むことができないまま、0-0で終了。

(第2クオーター)

最初のシュートは日本。19分カウンターアタックから和久利が自陣レフトからドリブルで仕掛けると、サークル内の坂本にパスを送る。坂本はリバースシュートを放つが、このシュートはGK正面で得点ならず。その後も日本の攻撃は続き、21分またもカウンターから北里がドリブルでレフトからサークルインしリバースシュートを放つが、ゴールに右に外れる。インドは第2クオーター終了間際の30分、レフトからサークルインすると、リバースシュートからPCを取得。このPCをドラッグフリックシュートをゴール左上に決め、先制点を挙げる。

(第3クオーター)

第3クオーターに入り、勢いに乗るインドがゲームの主導権を握る。それでも日本は36分自陣からバスを繋ぎインド陣内に攻め込みクロスパスを放つ。しかしここからインドのカウンターアタックが開始され、シンプルに前線にバスを繋ぐと、最後はレフト23m付近から中央へのドリブル突破でヒットシュートを決め2点目を奪う。その後もインドがやや優位に試合を進めるが、日本は集中力を切らさない守備で追加点を与えない。44分日本はロングコーナーを得ると、インドの守備陣形の整わない隙にレフトから黒川がサークルインしPCを取得。このPCを北里のスイープシュートのリバウンドを和久利が押し込み日本は1点を返す。

(第4クオーター)

同点に追い付いた日本と追加点を奪い突き放したいインド。お互いにゴールを奪うべく、激しい攻防が続く。50分インドはPCを奪うが、このドラッグフリックシュートはGK高瀬がセーブし追加点を与えない。55分日本は中盤の村田からサークルトップ中央の黒川にバスが渡り、黒川はシュートを放つがこれは惜しくもゴール左に外れる。そして残り5分を切ったところで第1戦に続き、GK高瀬に代えDF粥川を投入する日本。日本は時間を有効に使いながら、何度もインドサークルに侵入するが、インドの厚い壁を崩すことができず、このまま1-2で試合終了となった。

なおこの試合で、DF塙川が国際キャップ100試合目を記録した。

日本	5	シュート数	6	インド
1	PC数	2		

次戦(第4戦:最終戦) 5月9日(土) 19:00 ~

記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸